

2025年2月18日

報道関係者各位

特別展「御舟と一村、珠玉の日本画」 速水御舟と、ゆかりある画家たち

特集展示 日本のやきもの色イロ

岡田美術館（館長・小林忠）では、開催中の特別展「御舟と一村、珠玉の日本画」にて、名品「木蓮（春園麗華）」（①）を含む速水御舟の作品4件と、御舟にゆかりある画家たちの作品を展示しています。

幕末から大正にかけて活躍した松本楓湖（⑤）は、偶然にも御舟の家の斜め向かいに、私塾である安雅堂画塾を開いていました。御舟は13歳で入門し、そこで徹底的に模写を行い基礎を学んだと言われています。

また同じ日に16歳で同塾に入門した小茂田青樹（②）とは、その後、一生の友となりました。御舟が亡くなる2年前に逝去していますが、御舟は2人の関係について「画の上での苦悩を救ってくれた」「二十数年間、画業の上に兄弟の交りをもって過ごしてきた」と言葉を残しています。

所属した日本美術院の画家たちとの親交も深め、小林古径（③）とは30歳の時に国内を1カ月間旅した仲でした。墨のみで描いた「木蓮（春園麗華）」と「麦」は同じ年に描かれています。特別展ではほかに、安田靉彦、奥村土牛、前田青邨、土田麦僊、村上華岳など同時代に影響を与え合った画家の作品も展示中です。



①速水御舟「木蓮（春園麗華）」
大正15年（1926）



②小茂田青樹「粟に蜻蛉」
昭和時代初期 20世紀前半



③小林古径「麦」大正15年（1926）



④鈴木其一「木蓮小禽図」
江戸時代後期 19世紀前半



⑤松本楓湖「養老の滝・富士見西行図」
明治時代末～大正時代前期 20世紀初頭



⑥田中一村「白花と赤翡翠」
昭和42年（1967）
©2025 Hiroshi Niiyama

時勢
くねくね
くねくね
くねくね

伊屋宗達

鈴木其一

琳派

土田麦僊

村上華岳

京都画壇

交流

松本楓湖

師弟関係

速水御舟

生涯の友

小茂田青樹

奥村土牛

前田青邨

小林古径

安田毅彦

紅児会

日本美術院

尊敬

田中一村

青

白

A circular woven basket with a dark, patterned rim and a central panel featuring a black and white illustration of a group of people in traditional Japanese attire. The illustration is done in a style reminiscent of a woodblock print or a textile design, showing several figures in various poses, some standing and some sitting, in a traditional Japanese setting. The basket is made of a light-colored material, possibly straw or bamboo, and the rim is decorated with a dark, repeating geometric pattern. The central panel is a lighter color, providing a contrast for the dark illustration. The overall appearance is that of a traditional Japanese craft item, possibly a decorative basket or a small container.

〒250-0406 神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷493-1 TEL 0460-87-3931 (代表)
www.okada-museum.com

申込受付中！「箱根の自然をスケッチ 大人のアート入門」

美術館敷地内の開化亭にて、庭園からの景色を色鉛筆で描く「箱根の自然をスケッチ 大人のアート入門」を行います。講師に片岡永俐那先生を迎え、初心者でも気軽にご参加いただける大人のための写生会です。



昭和初期の日本家屋を改装した飲食施設「開化亭」

- 日 時：4月20日（日）13:00～16:00
- 場 所：岡田美術館 開化亭
- 参 加 費：7,000円（税込）
- 事前申込制：0460-87-3931 / info@okada-museum.com

※画材、美術館招待券、終了後の開化亭の喫茶代含む。
※色鉛筆、画用紙等はすべて岡田美術館にて用意。

かたおか えりな
【片岡 永俐那】

画家／アーティスト。静岡県油彩美術家協会常任委員・三島市社会教育絵画講師。10代から画家をめざし写実表現から抽象表現に傾倒し、現在は「五感とアート」をテーマにした絵画を制作。



名画とともに楽しむ庭園の景色



岡田美術館の敷地内にある庭園では、季節毎に景色を楽しんでいただけます。特に色とりどりの牡丹は約400株の見事な大輪の花を咲かせ、庭園を鮮やかに彩ります。

美術館で絵画を楽しんだあとは、ぜひ庭園にも足を運んでみてはいかがでしょうか。

木蓮／3月下旬～4月上旬

牡丹／4月下旬～5月上旬

新緑／4月下旬～6月上旬

岡田美術館について

岡田美術館は2013年10月、箱根・小涌谷に開館しました。全5階、展示面積約5,000㎡という屋内展示面積としては箱根随一を誇る広大な館内に、日本・東洋の陶磁器や絵画などの美術品を常時約450点展示しています。現代日本画家・福井江太郎氏によって描かれた風神・雷神の大壁画を眺めながら楽しめる100%源泉かけ流しの足湯カフェや、季節によって表情を変える庭園を眺めながら食事ができる「開化亭」などの付帯施設もお楽しみいただけます。



【お問い合わせ先】

広報担当：高橋・山本・川村 TEL：0460-87-3931 FAX：0460-87-3934 E-mail：pr@okada-museum.com

岡田美術館 広報用画像データ貸出申込書

広報用画像をご使用の際は下記の点にご注意ください。

【注意事項】

- * 本特別展の紹介に限り使用し、二次使用や改変（部分使用含む）はご遠慮ください。
 - * 使用後 2 週間以内に、貸与したデータをすべて消去してください。
 - * 表記一覧に記載した掲載キャプション（作品名、作者名、制作年、岡田美術館蔵ほか）をすべてご記載ください。
 - * web 掲載時は「画像写真の無断転載禁止」の旨をご記載ください。
 - * 校正原稿を広報担当者までお送りください。※校正期間は中 3 営業日
- プレスリリースをご参照の上、ご希望の写真 No. に✓印をお付けください。

【田中一村「白花と赤翡翠」を掲載の場合】

- * 「©2025 Hiroshi Niiyama」の記載と事前校正、データ消去証明書をご提出ください。
- * 紙媒体は掲載誌 3 部を寄贈してください。
- * web 媒体は特別展終了後（2025 年 6 月 1 日）に画像を取り下げてください。

✓	No.	掲載時のキャプション
	1	速水御舟「木蓮（春園麗華）」（部分）大正 15 年（1926） 岡田美術館蔵
	2	小茂田青樹「粟に蜻蛉」（部分）昭和時代初期 20 世紀前半 岡田美術館蔵
	3	小林古径「麦」（部分）大正 15 年（1926） 岡田美術館蔵
	4	鈴木其一「木蓮小禽図」（部分）江戸時代後期 19 世紀前半 岡田美術館蔵
	5	松本楓湖「養老の滝・富士見西行図」（部分）明治時代末～大正時代前期 20 世紀初頭 岡田美術館蔵
	6	田中一村「白花と赤翡翠」昭和 42 年（1967）©2025 Hiroshi Niiyama 岡田美術館蔵
	7	速水御舟「竹生」（部分）昭和 3 年（1928） 岡田美術館蔵
	8	俵屋宗達下絵・本阿弥光悦書 柳に波下絵和歌色紙「ほととぎす」（部分）桃山～江戸時代初期 17 世紀初頭 岡田美術館蔵

申し込みフォーム * フォームへの記入、もしくはお名刺の添付をお願いいたします。

貴社名			
媒体名			
ご担当者様名		TEL	
部署名		FAX	
E-mail			
ご住所	〒 ー		
放送・掲載内容			
放送・掲載予定日	年 月 日	画像データ 必要期限	年 月 日
放映エリア／発行部数			
弊社社内ネットワークへの当該記事 PDF の掲載可否	可 / 否	その他、掲載条件	

★プレゼント用招待券をご希望の方は、別途広報担当にご相談ください